

2010年度日本農業経済学会理事会次第（案）

1. 協議事項

- (1) 2010年度決算案について
- (2) 2011年度予算案について
- (3) 監事の選任
- (4) 企画委員会規程の改定について
- (5) 学会論文集投稿規程の改訂について
- (6) 新編集委員の選出について
- (7) 学会役員について

2. 報告事項

- (1) 2012年度大会の開催について
- (2) 岩波書店との新たな販売契約
- (3) 学会誌関係
 - 和文誌関係（編集状況等）
 - 英文誌関係（編集状況等）
- (4) 学会賞・国内学術交流関係
- (5) 国際交流関係
- (6) 情報関係
- (7) 会員動向

(資料1)

2010年度日本農業経済学会 会計決算書

自 2010年3月01日
至 2011年2月28日

日本農業経済学会会長 本間 正義

収入の部

単位:円

科 目	予算額	決算額	増減(決-予)	備考
会費収入	10,140,000	9,642,550	△ 497450	
正会員会費	8,800,000	8,537,550	△ 262450	前々年、前年、未納徴収大、本年は未納徴収が一段落した。
学生会員会費	1,190,000	935,000	△ 255000	同上
購読会員会費	150,000	170,000	20000	
賛助会員会費	0	0	0	
事業収入	6,650,000	6,904,182	254182	
和文誌売上	1,700,000	1,756,832	56832	岩波(450部)売上げなど
論文集売上	60,000	82,950	22950	農文協(20冊)売上げなど
広告料収入	440,000	386,400	△ 53600	学会誌広告収入(要旨集無しで減)
別刷売上	50,000	27,000	△ 23000	
大会要旨集売上	1,500,000	1,726,000	226000	京都大会(有料入場者576名分)
論文集掲載料収入	2,900,000	2,925,000	25000	論文集掲載者(78名 前年より10名減少)
科学研究費補助金	800,000	1,200,000	400000	前年同額(120万円)認められた
学会誌発行引当金繰入	1,000,000	0	△ 1000000	補助金が認められたことから繰入なし
雑収入	150,000	185,219	35219	複写使用料分配金、預金利息、バックナンバー売上等
名簿作成積立金取崩収入	1,700,000	1,700,000	0	
計	20,440,000	19,631,951	△ 808049	
前年度繰越金	7,380,155	7,380,155	0	
合計	27,820,155	27,012,106	△ 808049	

支出の部

単位:円

科 目	予算額	決算額	増減(決-予)	備考
事業費	15,430,000	15,860,980	430980	
会誌印刷費	4,000,000	3,988,837	△ 11163	
会誌・論文集発送費	1,600,000	1,955,237	355237	名簿発送分 追加による
編集委員会費	600,000	535,126	△ 64874	
論文査読料	200,000	110,000	△ 90000	査読論文数の減少
論文集刊行費	2,800,000	2,404,147	△ 395853	論文集掲載者(78名 前年より10名減少)
別刷費	30,000	22,110	△ 7890	
大会費	1,500,000	1,500,000	0	京都大会実行委対応
大会要旨集印刷費	1,100,000	1,394,400	294400	シンポ資料(200→800部)増加のため
大会関係費	500,000	932,727	432727	ポスター印刷、大会案内印刷・送付料金増などによる
名簿作成費	1,700,000	1,708,644	8644	
分担金	200,000	192,600	△ 7400	日本農学会・日本経済学会連合等分担金
ホームページ関係費	1,200,000	1,117,152	△ 82848	
管理費	5,100,000	5,321,229	221229	
会議費	600,000	703,285	103285	会場借料が、前年の東大から国際フォーラム等へ替ったことによる増加
旅費	2,000,000	2,203,900	203900	シンポジウム打合せなどの増、メンバーが遠方の方が多かったため。
印刷費	100,000	168,000	68000	シンポジウム等資料作成の増加など
通信費	500,000	422,545	△ 77455	
業務委託費	1,800,000	1,779,639	△ 20361	
雑費	100,000	43,860	△ 56140	
国際交流費	500,000	0	△ 500000	京都大会では、国際シンポ等の開催が無かった。
学会誌発行引当金	0	0	0	
名簿作成積立金	850,000	850,000	0	
予備費	200,000	0	△ 200000	
計	22,080,000	22,032,209	△ 47791	
次年度繰越金	5,740,155	4,979,897	△ 760258	
合計	27,820,155	27,012,106	△ 808049	

日本農業經濟学会 貸借対照表

2011年2月28日
単位:円

資 産		負 債	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	6,287	前受会費	154,500
普通預金	4,812,028	仮受金	213,660
郵便振替	1,622,356	未払費用	2,415,139
定期預金	10,000,000	預り金	930,000
未収入金	553,025	名簿作成積立金 *注	850,000
仮払金	1,500,000	学会誌発行引当金	9,000,000
前払費用	49,500	次年度剰余金	4,979,897
		(過年度剰余金)	7,380,155
		(当年度剰余金)	△ 2,400,258
合 計	18,543,196	合 計	18,543,196

*注	前年度迄積立金	0
	本年度積立額	850,000
	名簿作成積立額	850,000

財産目録

(単位：円) 2011年2月28日

科目	摘要	金額
(資産の部)		
現金		6,287
普通預金	りそな銀行/目黒駅前支店	4,111,984
普通預金	三井住友銀行/上野支店	700,044
郵便振替	郵政公社	1,622,356
定期預金	三井住友銀行/上野支店	10,000,000
未収入金	2004～2009年度論文集掲載料等	553,025
仮払金	2011年度大会費用等	1,500,000
前払費用	3月会議室料	49,500
資産合計		18,543,196
(負債の部)		
前受会費	2011年度以降前受会費	154,500
仮受金	研連会計より仮受	213,660
未払費用	業務委託料等	2,415,139
預り金	早稲田大会参加費・懇親会費	930,000
名簿作成積立金	2012年度名簿作成充当金	850,000
学会誌発行引当金		9,000,000
負債合計		13,563,299
(資本の部)		
過年度剰余金		7,380,155
当年度剰余金		-2,400,258
資本合計		4,979,897

2010年度収支決算結果について慎重に監査した結果、適正であることを認めます。

2011年 月 日

日本農業経済学会 監事

會 田 陽 久 (印)
日 暮 賢 司 (印)

日本農業経済学会特別会計（Ⅰ）

収支決算書

(2010年3月1日～2011年2月28日)

(単位：円)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
寄付金収入	600,000	学会賞関連費	90,000
預金利息	2,389	会議費	54,507
		旅費交通費	67,700
		通信費	4,375
		雑費	6,342
		本年度剰余金	379,465
合計	602,389	合計	602,389

貸借対照表

(単位：円)

2010年2月28日

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
普通預金	2,423,884		
定期預金	3,500,000	前年度繰越金	5,544,419
		本年度剰余金	379,465
合計	5,923,884	合計	5,923,884

財産目録

(単位：円)

2010年2月28日


科目	摘要	金額
(資産の部)		
普通預金	三菱UFJ信託銀行/上野支店	2,423,884
定期預金	三菱UFJ信託銀行/上野支店	3,500,000
資産合計		5,923,884
(負債の部)		
負債合計		0

2010年度収支決算結果について慎重に監査した結果、適正であることを認めます。

2011年 月 日

日本農業経済学会 監事

會田 陽久 

日暮 賢司 

日本農業経済学会特別会計（Ⅱ）

収支決算書

(2010年3月1日～2011年2月28日)

(単位：円)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
預金利息	61,992	雑費	1,655
		本年度剰余金	60,337
合計	61,992	合計	61,992

貸借対照表

(単位：円) 2011年2月28日

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
定期預金	30,000,000		
普通預金	1,964,377	前年度繰越金	31,904,040
		本年度剰余金	60,337
合計	31,964,377	合計	31,964,377

財産目録


(単位：円) 2011年2月28日

科目	摘要	金額
(資産の部)		
定期預金	住友信託銀行/東京営業部	10,000,000
定期預金	中央三井信託銀行/本店営業部	10,000,000
定期預金	三菱東京UFJ銀行/春日町支店	10,000,000
普通預金	三菱UFJ信託銀行/上野支店	1,964,377
資産合計		31,964,377
(負債の部)		
負債合計		0

2010年度収支決算結果について慎重に監査した結果、適正であることを認めます。

2011年 月 日

日本農業経済学会 監事

會田陽久 

日暮賢司 

2011年度日本農業経済学会 予算書

自 2011年3月01日

至 2012年2月28日

日本農業経済学会会長 本間 正義

収入の部

科 目	2010年度	2011年度	増減(11-10)	備 考
会費収入	10,140,000	9,950,000	-190,000	
正会員会費	8,800,000	8,800,000	0	
学生会員会費	1,190,000	1,000,000	-190,000	直近の会費収入を踏まえ減額した。
購読会員会費	150,000	150,000	0	
賛助会員会費	0	0	0	
事業収入	6,650,000	6,000,000	-650,000	
和文誌売上	1,700,000	950,000	-750,000	岩波書店契約改定に伴う減少
論文集売上	60,000	60,000	0	
広告料収入	440,000	440,000	0	
別刷売上	50,000	50,000	0	
大会要旨集売上	1,500,000	1,600,000	100,000	最近の売上収入を踏まえ増額した。
論文集掲載料収入	2,900,000	2,900,000	0	
研究成果公開促進費	800,000	800,000	0	
学会誌拡充引当金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
雑収入	150,000	150,000	0	
名簿作成積立金取崩収入	1,700,000	0	-1,700,000	
計	20,440,000	17,900,000	-2,540,000	
前年度繰越金	7,380,155	4,979,897	-2,400,258	
合計	27,820,155	22,879,897	-4,940,258	

支出の部

科 目	2010年度	2011年度	増減(11-10)	備 考
事業費	15,430,000	13,704,000	-1,726,000	
会誌印刷費	4,000,000	4,000,000	0	
会誌・論文集発送費	1,600,000	1,600,000	0	
編集委員会費	600,000	600,000	0	
論文査読料	200,000	200,000	0	
論文集刊行費	2,800,000	2,800,000	0	
別刷費	30,000	30,000	0	
大会費	1,500,000	1,640,000	140,000	3月大会準備執行分増額(実行委支払分14万円)
大会要旨集印刷費	1,100,000	1,134,000	34,000	原稿一部差し替えに伴う印刷経費増額(34,000円)
大会関係費	500,000	800,000	300,000	最近の実績を踏まえ増額。
名簿作成費	1,700,000	0	-1,700,000	2年ごとの名簿作成年でないので、下に積立金を計上した。
分担金	200,000	200,000	0	日本農学会・日本経済学会連合等分担金
ホームページ関係費	1,200,000	700,000	-500,000	昨年はコンテンツ作成経費(50万円)を計上、本年は運営費のみ計上。
管理費	5,100,000	5,390,000	290,000	
会議費	600,000	700,000	100,000	
旅費	2,000,000	2,200,000	200,000	
印刷費	100,000	170,000	70,000	
通信費	500,000	420,000	-80,000	
業務委託費	1,800,000	1,800,000	0	
雑費	100,000	100,000	0	
国際交流費	500,000	500,000	0	アジア農業経済学会助成等
学会誌拡充引当金	0	0	0	
名簿作成積立金	850,000	850,000	0	
予備費	200,000	200,000	0	
計	22,080,000	20,644,000	-1,436,000	
次年度繰越金	5,740,155	2,235,897	-3,504,258	
合計	27,820,155	22,879,897	-4,940,258	

監事の選任について (案)

1. 監事については、會田陽久氏（農林水産政策研究所）、日暮賢司氏（東京農業大学）の2名で構成されているが、日暮氏の任期が2010年4月1日より、2012年3月31日までに対して、會田氏の任期は、2009年4月1日より、2011年3月31日までとなっている。このため、會田氏の後任の新監事を選出する必要がある。
2. 新監事としては、松久勉氏（農林水産政策研究所）を候補として推薦したい（任期（予定）：2011年4月1日～2013年3月31日）。

企画委員会規程の改訂について

1. 規程改訂の内容

現行規程では企画委員会の委員は理事から選出することになっている。これを、理事以外の会員からも企画委員を選出できるように改訂する。

2. 改訂の理由

企画委員会の構成の幅を広げることによって、大会の準備についてより柔軟な取り組み方が可能になる。

3. 改訂案

(現行)

第3条 企画委員会の委員は理事の中から若干名を選出し、常務理事会の議を経て会長から委嘱する。委員長は、副会長の一人が担当する。

(改訂後)

第3条 企画委員会の委員は理事の中から若干名を選出し、常務理事会の議を経て会長から委嘱する。なお、特に必要があると認められる場合は理事以外の会員から委員を選出することができる。委員長は、副会長の一人が担当する。

以上

「日本農業経済学会論文集」投稿規程の改訂について

1. 規程改訂の内容

ポスター報告において、企画委員会が指定する時間における報告、昼休みの閲覧者への説明・議論を行ったことを学会が認めた個別報告者のみ、「日本農業経済学会論文集」に投稿できるように改訂する。

2. 改訂案

(現行)

投稿者は、当年度の日本農業経済学会における個別報告者で、本誌への掲載を希望する学会員とする。なお、個別報告の申し込みの際、論文集への投稿をあらかじめ届け出ておくこと。

(改訂後)

投稿者は、当年度の日本農業経済学会大会において口頭報告およびポスター報告を行ったことを学会が認めた個別報告者で、本誌への掲載を希望する学会員とする。なお、個別報告の申し込みの際、論文集への投稿をあらかじめ届け出ておくこと。

以上

新編集委員と編集委員の交代 (案)

1. 従来の編集委員会：浅見、西澤、櫻井の3委員が退任して、沈金虎（京都大学）、木立真直（中央大学）、加藤弘二（宇都宮大学）の3先生を新委員とする。任期は2年。吉井、淡路、加瀬の3委員は留任。代表と委員長も留任。
2. 論文集投稿論文のみを審査する編集委員：上記で退任される浅見、西澤、櫻井の3先生が、当委員となり、任期を1年とする。さらに小野雅之（神戸大学）、清水純一（農林水産政策研究所）、木南章（東京大学）の3先生を新委員とし、任期を2年とする。

日本農業經濟学会・編集委員名簿（案）

○ 『農業經濟研究』（和文誌）編集委員

編集代表（副会長）	盛田 清秀（日本大学）
編集委員長（常務理事）	小林 弘明（和光大学）
委員	淡路 和則（名古屋大学）
委員	加瀬 良明（明治大学）
委員	加藤 弘二（宇都宮大学）
委員	木立 真直（中央大学）
委員	沈 金虎（京都大学）
委員	吉井 邦恒（農林水産政策研究所）

○ 『日本農業經濟学会論文集』編集委員

編集代表（副会長）	盛田 清秀（日本大学）
編集委員長（常務理事）	小林 弘明（和光大学）
委員	浅見 淳之（京都大学）
委員	小野 雅之（神戸大学）
委員	木南 章（東京大学）
委員	櫻井 清一（千葉大学）
委員	清水 純一（農林水産政策研究所）
委員	西澤 栄一郎（法政大学）

○ 『 The Japanese Journal of Rural Economics 』 (英文誌) 編集委員

編集代表 (副会長) 盛田 清秀 (日本大学)

編集委員長 (常務理事) 荒山 裕行 (名古屋大学)

委員 伊東 正一 (九州大学)

委員 草苺 仁 (神戸大学)

委員 駒木 泰 (札幌大学)

委員 櫻井 武司 (一橋大学)

委員 多田 稔 (近畿大学)

委員 松田 敏信 (鳥取大学)

委員 矢部 光保 (九州大学)

日本農業経済学会役員名簿 (案)

(2011年4月～2012年3月)

会 長	本間 正義 (東京大学)
副 会 長 (学会誌担当)	盛田 清秀 (日本大学)
副 会 長 (学会賞・国内学術交流担当)	齋藤 修 (千葉大学)
副 会 長 (国際交流担当)	末原 達郎 (京都大学)
副 会 長 (企画担当)	柳村 俊介 (北海道大学)
常務理事 (庶務)	江川 章 (農林水産政策研究所) *
常務理事 (財務)	千年 篤 (東京農工大学)
常務理事 (和文誌編集)	小林 弘明 (和光大学)
常務理事 (英文誌編集)	荒山 裕行 (名古屋大学) *
常務理事 (学会賞・国内学術交流)	納口 るり子 (筑波大学)
常務理事 (国際交流)	立川 雅司 (茨城大学)
常務理事 (企画)	南石 晃明 (九州大学)
常務理事 (情報)	寺内 光宏 (東京農業大学)
常務理事 (地区担当)	
北海道	仙北谷 康 (帯広畜産大学)
東 北	木下 幸雄 (岩手大学)
北 陸	酒井 富夫 (富山大学)
中 部	徳田 博美 (三重大学)
近 畿	高田 理 (神戸大学)
中 国	駄田井 久 (岡山大学)
四 国	大隈 満 (愛媛大学)
九 州	白武 義治 (佐賀大学)

理 事

發地 喜久治 (酪農学園大学)
久保田 哲史 (北海道農業研究センター)
長谷部 正 (東北大学)
千葉 悦子 (福島大学)
銭 小平 (国際農林水産業研究センター)
津谷 好人 (宇都宮大学)
清水 純一 (農林水産政策研究所)
柏 雅之 (早稲田大学)
加瀬 良明 (明治大学)
佐々木 隆 (信州大学)
向井 清史 (名古屋市立大学)
北川 太一 (福井県立大学)
千葉 典 (神戸市立外国語大学)
大西 敏夫 (和歌山大学)
赤沢 克洋 (島根大学)
糸原 義人 (山口大学)
亀山 宏 (香川大学)
山本 直之 (宮崎大学)
小泉 達治 (農林水産政策研究所) *

※ 但し、*印は会長指名理事

監 事

會田 陽久 (農林水産政策研究所)
※2009年4月1日より、2011年3月31日まで
日暮 賢司 (東京農業大学)
※2010年4月1日より、2012年3月31日まで

○ 2012年度大会開催について

◇ 会 期 2012年3月29日(木)～30日(金)【予定】

◇ 開催校 九州大学

◇ 会 場 九州大学 箱崎キャンパスおよび伊都キャンパス【予定】

(九州大会の会議予定)

① 3月28日(水) 正副会長会議、理事会、シンポジウム打合せ

② 3月29日(木)【大会初日】シンポジウム、総会、懇親会

③ 3月30日(金)【大会2日目】個別口頭報告・ポスター報告・特別セッションなど

販 売 契 約 書

日本農業経済学会の編集にかかる雑誌「農業経済研究」を株式会社岩波書店において販売するにあたり、本誌の発行兼編集著作権者日本農業経済学会（以下甲という）と株式会社岩波書店（以下乙という）との間に、次の条項により販売契約を締結する。

- 一、甲は本誌の編集と製作、校正と発行に関する責任を負い、乙は本誌の販売に関する責任と費用を負う。
- 一、本誌は季刊（三月、六月、九月、一二月）とする。
- 一、本誌は本体価格千二百十九円と定める。本体価格の変更を必要とする際は、甲乙協議の上定める。
- 一、乙は本誌毎号三二〇部を本体価格の六・〇掛にて仕入れ、その代金を発行の翌月末に支払うものとする。消費税は別とする。仕入れ部数変更を必要とする際は甲乙協議の上定める。
- 一、甲は、販売に必要な見本として、毎号、乙に二五部を無償で提供する。
- 一、甲は乙による本誌にかかわる宣伝のために、発行四十五日前に、本誌の目次および発行時期を明示する。
- 一、甲は本誌完成品を発行日前日に乙に納入するものとする。
- 一、本契約の有効期限は二〇一三年四月三十日までとする。契約の更新については本契約期間満了時に甲乙協議の上定める。

右契約成立の証として、契約書二通を作製し、甲乙各一通を保有する。

二〇一一年五月一日

東京都目黒区下目黒三丁目九番十三号

財団法人 農林統計協会内

日本農業経済学会

会



本 間 正 義



東京都千代田区一ツ橋二丁目五番五号

株式会社岩波書店

代表取締役社長



山 口 昭 男



2010 年度国際交流委員会関係

末原達郎・立川雅司

報告事項

1) 韓国農業経済学会への参加と日韓セッションでの報告について

日程： 韓国農経学会：2010年6月17日・18日

日韓セッション：6月18日午後

会場： ソウル大学キャンパス内 湖巖教授会館

テーマ： 「農業生命科学R&D分析」

日本側発表者： 弦間正彦教授（早稲田大学）

近藤巧教授（北海道大学）

日本側同行者： 松本武祝教授（東京大学：日韓小委員会委員長）

立川雅司准教授（茨城大学：国際交流担当理事）

2) アジア農業経済学会第7回ハノイ大会について

2011年10月13～15日に、ベトナムのハノイで、アジア農業経済学会第7回大会が開催されます。日本農業経済学会は、アジア農業経済学会ハノイ大会においても大会運営支援を行いたいと考えています。同学会の諸岡慶昇代表理事（高知大学）より要請がありました。前回マニラ大会においても大会運営支援のために、10万円を日本農業経済学会から支出しています。なお、アジア農業経済学会ハノイ大会については、アジア農業経済学会ウェブサイト：<http://7thasae.ipsard.gov.vn/>にて、閲覧することができます。

3) その他

国際交流委員会の構成

○国際交流委員会の構成

委員長：末原 達郎（副会長、京都大学大学院農学研究科）

委員：加古 敏之（神戸大学農学部）

委員：立川 雅司（常務理事、茨城大学農学部）

○日韓小委員会の構成

委員長：松本武祝：東京大学大学院農学生命科学研究科

委員：樋口倫生：農林水産省農林水産政策研究所

委員：鈴木宣弘：東京大学大学院農学生命科学研究科

委員：深川博史：九州大学大学院農学研究院

委員：坂下明彦：北海道大学大学院農学研究院

委員：イ・ジェヒョン：鹿児島大学農学部

委員：品川 優：佐賀大学経済学部

○日中小委員会の活動に関しては、今後の中国との交流事業の見直しを行うことを決定。

(2010年度第1回常務理事会)

資料：アジア農業経済学会ベトナム大会（ASAE ホームページ
<http://7thasae.ipsard.gov.vn/>より転載）

7th ASAE International Conference

**Meeting the Challenges Facing Asian Agriculture and Agricultural Economics Toward a Sustainable
Future**

13-16 October, 2011

Hanoi, Vietnam

Call for Papers/Posters

Asia has been emerging as a new economic force in the world. But despite this impressive economic growth, the region has continued to be confronted with issues related to poverty reduction, food security improvement, more equitable income distribution and social conflict reduction. One reason for the prevalence of these problems is the slow development of rural economies, primarily the agriculture sector, that remains the major source of livelihood and, hence, the backbone to further economic growth. The agriculture sector that has played a significant role in the region's economic development in the past is now being confronted with problems, a key one is the sustenance of its rates of growth at par or even surpassing the rate of increases of food demand from population expansion and rapid urbanization. Numerous factors are accounting for this production slowdown, the key ones include: the leveling off of yield growth rates, degradation of natural resources, competition of input use between agriculture and non-agriculture sectors, fuel price increases, and the emerging threats posed by climate change. In addition to these factors are the need for better incentive mechanisms and sound government policies that would increase investment in productivity enhancing measures and strengthen links to markets and other agribusiness opportunities to effect growth in the rural economy.

This emerging scenario highlights the need to reconsider existing concepts and theories as well as research tools to describe and analyze the patterns of development and linkages that are now taking place in agriculture and the rural economy. This task of characterizing these emerging patterns and linkages should be a challenge for researchers, scientists and practitioners (both in the public and private sectors) alike to better inform and guide future development paths towards the achievement of more sustainable growth.

The theme of the 7th International Conference of the Asian Society of Agricultural Economists (ASAE) aims to challenge the Agricultural Economics profession, in particular, to evaluate and define its role to assist the region hurdle the constraints facing Asian agriculture today towards the achievement of higher incomes, reducing poverty and improving food security. It is therefore inviting agricultural economists as well as other development practitioners, policymakers, academicians, researchers, and students to participate in the aforementioned conference which will be held in Hanoi, Vietnam on 13-15 October 2011. This event is

co-organized by the ASAE Board Members and the Institute of Policy and Strategy for Agricultural and Rural Development (Ministry of Agriculture and Rural Development of the Socialist Republic of Vietnam). The Conference Program Committee is now calling for papers that address various agricultural development issues of relevance especially to developing countries in Asia on the following sub-themes:

- Asian Agriculture in Development
- Climate Change and Sustainability of Asian Agriculture
- Strengthening Food security in Asia
- Development in Asian Agro-food Marketing
- Rural development and urbanization in Asia
- Asian Agriculture Cooperation in Globalization
- Dynamics of rural livelihoods and poverty based on panel data in South Asia
- Vietnamese Agriculture and Rural Development, Problems and Strategies

Requirement for paper/poster abstract:

There are three ways by which you can participate in the conference and the process of participating in any of the conference event is briefly described below:

1) An abstract on the paper you are planning to present has to be submitted on or before the deadline which is 28 Feb 2011. The abstract should be no more than 300 - three hundred words (about half a page of an A4 bond paper) describing briefly your paper: key motivation for the study, objective, information on the location and data used, methodology and results. Key words should be indicated. Also include the title of the paper and the author/authors, putting an asterisk on the proposed paper presenter. An important information that we would also want is an indication as to which theme your paper should be programmed for possible presentation which could be indicated at the bottom of the abstract

2) As a poster presenter--again based on the themes identified in the announcement. The abstract for poster presentation follows the same format as in the paper presentation as described above.

3) As a parallel session organizer. A parallel session organizer would have the responsibility of getting 3 to 4 speakers/paper presenters to make up one parallel session on a topic that would fall in any one of the 6 themes identified in the Conference announcement. You would submit to Conference Secretariat an abstract of the parallel session that would bear almost the same information except perhaps the individual results of the studies/papers that would be presented. In addition, you should also provide the expected presenters in your parallel session, an abstract of each of papers for presentation (following item 1 above). Organized parallel session could be on the results of completed research projects, almost completed projects with initial results, or proposed project/program concept that you may want to people to comment

on. The Organized parallel session could also be any other development activity with implications on policy, institutional reforms, capacity building, etc that you may want colleagues to be informed about.

Deadline

Submission of paper/poster abstract	15 April 2011
Notification of paper/poster acceptance	15 June 2011
Submission of full paper/poster	31 August 2011

Contact Us

Conference Secretariat	Organizing Committee
Center for Agricultural Policy (CAP)/ Institute of Policy and Strategy for Agricultural and Rural Development (IPSARD) 5th Floor, 16 Thuy Khue Street, Ba Dinh District, Hanoi, Vietnam Tel: (84 4)37280491 Fax: (84 4)37280489 Email: 7thasae@cap.gov.vn	Dr. Dang Kim Son, Chair dangkimson@ipsard.gov.vn Dr. Pham Thi Ngoc Linh linh.pham@cap.gov.vn
Southeast Asian Regional Center for Graduate Study and Research in Agriculture College, Los Banos, Laguna, 4031 Philippines Tel: (63-49) 536-2290 Ext. 131 Fax: (63-49) 536-4105 http://www.searca.org	Dr. Mercedita A.Sombilla masombilla@agri.searca.org

会員数の動向

日本農業経済学会

単位:名

会員種別	2008年 2月末	2009年 2月末	2010年 2月末	2011年 2月末
名誉会員	31	36	37	38
正会員	1,071	1,114	1,114	1,104
学生会員	401	420	414	422
購読会員	20	20	19	18
合計	1,523	1,590	1,584	1,582